

モニタリングチェックシート（平成24年度）

< 評価 >

優：特記すべき実績・成果が認められるもの

良：管理運営が良好と認められるもの

要改善：一部において改善を要する点が見受けられるもの

施設名	大泉障害者地域生活支援センター
指定管理者名	社会福祉法人 東京都知的障害者育成会
評価者	障害者施策推進課長

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 効率的運営・効率化への取り組み <ul style="list-style-type: none"> 計画的な予算執行であるか 管理業務費の経理については、別に会計を設けて処理しているか 帳簿等を整備して、管理業務費の執行状況等を記録しているか 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な予算執行、会計処理の帳簿整理等が実践されている。 基本協定や事業計画書に基づく事業運営がなされている。
2 施設管理運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 物品購入および再委託の際に、区内業者の活用に努めているか 設備・備品の保守点検等管理を適切に行っているか 練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか 職員配置は協定を遵守しているか 職員について区内雇用の促進を図っているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 物品購入等における区内業者の活用に努めている。 保守点検等の管理を適切に行っている。 職員配置の協定を遵守すること等については、適切に運営体制を整えている。
3 サービスの維持・向上に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズに対応できる事業を適正に実施しているか 地域との連携を図って事業を実施しているか 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取り組みを進めているか 人権についての職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか 苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか 	優	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の要望を受け、オープンスペース（交流室）のレイアウトを見直した結果、前年度に比べ17%（約700人）利用者数が増えた。 各障害の特性に応じた参加しやすいプログラムの提供に努めている。 週2日の喫茶事業の運営が定着し、地域住民と交流を図る場となっている。 地元町会の防災会議に職員が出席するほか、利用者と一緒に防災訓練に参加し、地域との連携を進めている。
4 法令遵守等 <ul style="list-style-type: none"> 職員の採用選考および勤務条件について、関係法令を遵守しているか 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか 練馬区情報セキュリティポリシーに定める水準と同等もしくはそれ以上の水準を保障する対策を講じているか 個人情報保護条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか 情報公開条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 職員の採用選考等について関係法令を遵守している。 緊急時のマニュアルを整備し、併設の大泉子ども家庭支援センターと合同で必要な訓練を実施している。 個人情報保護、情報公開等の規程を設けている。
5 利用者評価等 <ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート等の評価は良好か 運営協議会の評価は良好か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートおよび運営協議会からの評価は良好である。
総合評価	<p>(講評)</p> <ul style="list-style-type: none"> 項目全般について区が求める水準を満たしている。 開設から3年経過し、利用者数および相談者数は順調に伸びており、地域に定着してきている。 地域の防災活動を通じて地元町会との連携を進めている中で、センターのイベント開催にあたり地元町会が協力を申し出てくれるなど、良好な関係を築いている。 	
良		